



第2回テーマ

## 名寄のPRではメインイメージの「星・もち米」を紹介しましょう

市民の皆さんに「名寄と言えば何がイメージとして思い浮かびますか？」と質問をしますと「アスパラガス」「ひまわり」「雪質日本一」「サンピラー」「もち米」「天文台」など、ひとつに限定した答えが返ってきません。これは名寄には多くの資源が存在するということでもあります。一方では、市民の皆さんに統一した名寄のイメージがない表れでもあります。



名寄を宣伝するために新聞・旅行雑誌・テレビなどを利用することも大切ですが、市民自らが「名寄市の広報宣伝マン」として、口コミによる宣伝PRが何よりも大切であります。特に名寄を知らない人や市外から来られたお客様に統一したPRでなければ「名寄市は〇〇や△△、さらには☆☆も有名なんだ」との印象は持っていただけませんが、時間とともにその印象が薄れていく可能性が高まります。

平成18年度に策定した新名寄市総合計画（第1次）では「名寄市の豊かな自然環境のすばらしさやいきいきとした市民の姿」と「天塩川の恵みに育まれてきた農業をはじめとする産業と人と人との結びつきを大切にして支え合い、一人ひとりが輝く名寄のまち」を表すため、キャッチフレーズとして「星・雪・きらめき 緑の里 なよろ」と定めています。

このことから観光振興計画では、多くの市民の方々からの意見を参考に、名寄のメインイメージを

市民の皆さんも「名寄市は何が有名なのですか？」と聞かれることや自己紹介などで名寄市の紹介をすることがあると思います。

その時に「名寄市は〇〇が自慢です。」と最初にPRしていただきたい事柄について、本年3月に策定しました「名寄市観光振興計画」では「星・もち米」と定めていますので、この「星・もち米」をストーリーも併せて積極的に宣伝してもらえようご協力をお願いします。

「星・もち米」に定めさせていただきました。市外の方から「名寄は何が自慢ですか？」との質問には「名寄は素晴らしい日本一の星空（天文台）ともち米の産地です」などのメインイメージを共有することが名寄の印象度を高めることとなります。

この名寄のメインイメージ「星・もち米」を目に見えるものにして、市民への印象度を上げ、さらには名寄市の知名度アップのための観光振興のシンボルとなるマスコットキャラクターのデザインを募集したところ、全国から512点（応募者数351人）の応募がありました。

キャラクターの決定は「名寄市観光交流振興協議会」の各団体の事務担当で組織する「幹事会」において、次のキャラクターが選考されました。



このマスコットキャラクターは、市内外のイベント・物産展などにおいて宣伝効果を上げるために活用しますが、観光振興計画の第1目標である「名寄市民の満足度アップ」を目指すため、市内で催される町内会行事や各種運動会など様々な行事にも活用します。市民の目に触れる機会を多くすることによって、マスコットキャラクター市民愛着度アップを図ります。

また、キャラクターは、市内での経済活動に係る個人または企業の利用について、市の許可があれば無料で使用できるようにします。また、コミュニティ活動については、自由に使用できるような「イメージキャラクター活性化戦略」も検討していますので、市民の皆さんの積極的な活用をお願いします。

問い合わせ 営業戦略室営業戦略課 ☎01654③2111 内線3342